

再生可能エネ

マッチングを事業化

パシコン 地産地消で活性化も

パシフィックコンサルタンツは、再生可能エネルギーのマッチング事業を9月から始める。エネルギービジネスを手掛ける事業者と、土地などの資源を所有している事業者をウェブサイトで結び付けるだけでなく、発電した電力を使って地域活性化につなげる

ことが特徴となっている。同社は再生可能エネについて、ニーズとシーズがみ合っていないケースが多いと指

摘、マッチングによって事業化できれば、コンサルティングすることで利益を得る。既にシステムを紹介する予告サイト「EneMATCH+（エネマッチプラス）」を開設した。9月から本格的にスタートさせ、年間100件程度がウェブサイトで動いている状態を目指す。

事業スキームはマッチングだけでなく、発電した電力を地域の事業に活用すること

で、地域経済循環の中に発電事業の利益が流れ、地域活性化も図る。地域事業の創出も

コンサルティングする。

同社は宮城県釜石市で復興支援として、総務省の事業を通じて太陽光発電の電力を使った地域交通創出事業（シクロタクシー事業）の検証に取り組んでいる。検証終了後も独自事業として継続、最終的には地域の事業者などに事業の移管を予定している。